5. TogoID: データベース統合の基盤となる ID変換サービス

○池田秀也¹、千葉啓和¹、藤原豊史¹、五斗 進¹、井手隆広²、川島秀一¹、箕輪真理¹、 三橋信孝¹、守屋勇樹¹、内藤雄樹¹、仲里猛留^{1,3}、信定知江^{2,4}、大田達郎¹、小野浩雅¹、申在紋¹、 高月照江¹、建石由佳²、豊岡理人^{2,5}、山本泰智¹、八塚茂^{2,3}、片山俊明¹



- 1情報システム研究機構データベース共同利用基盤施設ライフサイエンス統合データベースセンター (DBCLS)
- 2 科学技術振興機構 NBDC事業推進部
- 3 現・製品評価技術基盤機構 バイオテクノロジーセンター
- 4 現・理化学研究所 生命医科学研究センター
- 5 現·富山国際大学 現代社会学部



ID変換の必要性

バイオインフォマティクスで様々なDBを活用するにはデータベースID間のリンクが重要

- 等価なものに付けられたID間の変換
 - o 例: NCBI Gene ID ↔ Ensembl ID
 - 使いたい解析ツールが、手元のIDを受け付けてくれない場合など
- 関連する情報の取得
 - バリアント→遺伝子
 - 遺伝子→トランスクリプト
 - トランスクリプト→タンパク質
 - タンパク質→立体構造
 - 立体構造→相互作用
 - 相互作用→化合物・医薬品
 - 化合物・医薬品→パスウェイ
 - パスウェイ→疾患



既存のID変換サービス

データベースID間のリンク情報を提供する既存のサービスの例

- 国内: LinkDB (ゲノムネット), Biodb.jp
- 海外: BioMart, UniProt ID mapping, Ensembl, Bio2RDF

既存のリンク情報の課題

- 対象としているデータベースのカバレッジが限られる
- 各データベースの毎年・毎月・毎日など更新への追従
- 対話的に操作するUIと、プログラムから自動化して利用するAPIの両方が欲しい

類似のものとしてIDの転送サービスがあるが

- ページを開いてみるまで転送先は不明: PURL, Identifiers.org
 - OK: 転送ルールだけ記述しておけばよいので維持管理は容易
 - NG: 事前に転送先のIDを知っておくには、データとして維持管理しておく必要がある



TogoIDで実現したいこと

データベースのカバレッジを確保

- ライフサイエンス統合データベースセンターにおけるデータ統合のハブとして
- LINCなど生命医科学ドメインのニーズに応じて対応データベースを拡張する

ウェブトで対話的に操作して変換し結果をダウンロード

- 始点となるIDから探索的に接続先のデータベースをたどる
- 始点および終点となるデータベースを指定して経路を探索する

プログラムによる自動処理を実現

● 上記と同じ機能をウェブサービス(API)としても提供

安定的なサービスの提供と定期的な更新

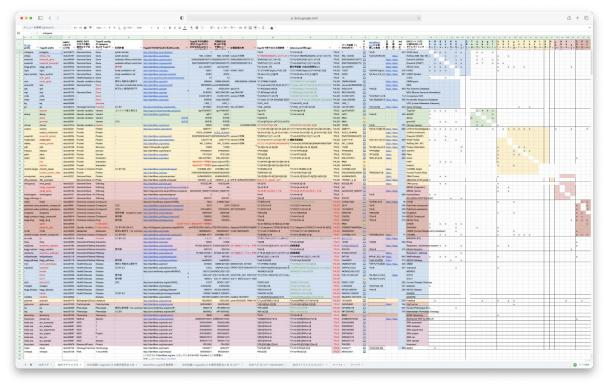
- サービスをクラウドで提供することでダウンタイムを解消
- データベース毎の更新頻度に合わせたアップデートを自動化 (TogoID-config)



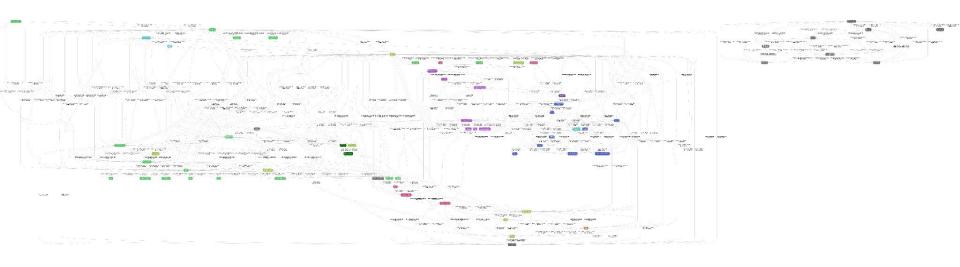


TogoIDの対象データベース選定

- 遺伝子・タンパク質・ 化合物・パスウェイ・ 疾患など、対象とするDBを リストアップ
- NBDCデータベースカタログ との対応付け
- データ取得元・データ形式・ 更新頻度・ライセンスなどを 調査
- 各DBからID変換可能なDBを 調査
- ID体系(正規表現パターンなど)の調査



TogoIDによるリンク情報の集約と管理



2022/9 現在

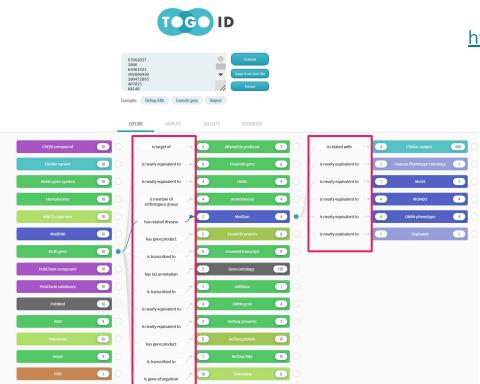
- 65 データベース
- 162 データベースペア



TogoID ontology の作成

- TogoID では同じ実体を指すものの間の ID 変換(例: NCBI gene <-> Ensembl Gene)だけでなく、何らかの意味でつながる ID 間の変換を幅広く対応
- リンクの生物学的な意味を明示するためにオントロジーを作成
 - UI 上で表示
 - RDF 版でも predicate として使用
- https://togoid.dbcls.jp/ontology

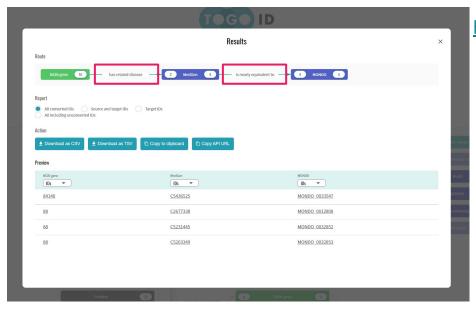
TogoIDのウェブインターフェイス



https://togoid.dbcls.jp/

- IDリストを入力(もしくはファイルアップロード)
- 自動判定されるDBを確認して選択
- 変換先のDBを選択
- 必要なら数ステップ先の変換先DBまで選択
 - : オントロジーで定義された、リンクの意味

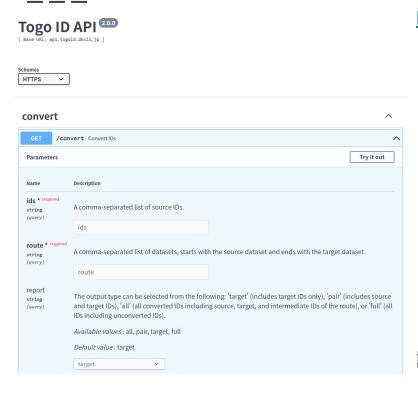
TogoIDのウェブインターフェイス



https://togoid.dbcls.jp/

- IDリストを入力(もしくはファイルアップロード)
- 自動判定されるDBを確認して選択
- 変換先のDBを選択
- 必要なら数ステップ先の変換先DBまで選択
- オントロジーで定義された、リンクの意味
- プレビューして変換状況を確認
- 問題なければ変換表をダウンロード

TogoIDのAPIによるプログラムからの自動変換処理



https://api.togoid.dbcls.jp/convert

- ?ids=5460,6657,9314,4609
 - 変換元のIDリストをカンマ区切りで渡す
- &route=ncbigene,ensembl_gene
 - 変換ルートをカンマ区切りのデータベース名で渡す
- &format=json
 - 取得するデータ形式を指定 (csv, tsv, json)
- &include=target
 - 変換先IDだけ (target)
 - 変換元IDと変換先ID (pair)
 - 中間の変換ルートすべてのID (all)
- &offset=0&limit=10000
 - 大量に取得する場合のオフセット・リミット値

詳細: TogoID API 2.0.0



TogoIDを構築して分かった課題

元々のデータベースに内在する問題

- IDの表記ゆれが激しい
 - PDB: 1G0M, 1g0m
 - Gene ontology: G0:0019907, G0_0019907
 - Orphanet: ORPHA:101078, ORDO:101078, Orphanet:101078 実用される表記法をなるべく拾うような正規表現で対応、DATABASESタブに例示
- 1つのDBに複数のID体系が混在(ゲノム, 遺伝子, トランスクリプト, タンパク質…)
 - Ensembl: ENSG00000186283, ENST00000638000, ENSP00000365411
 - RefSeq: NG_004671, NM_001199636, NP_001171968 TogoIDでは名前空間を分けて管理



TogoIDを構築して分かった課題

変換後のIDが発散する問題

- 1対多、多対多(変換後にその先の変換を続けると対応数が爆発する)
 - 遺伝子→Gene ontologyによる分類→タンパク質
 - タンパク質→Pfamなどの機能ドメイン→立体構造

生物種で絞り込む、などが考えられるが未対応

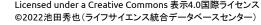
どこまでID変換でやるのか問題

- ID変換の意味(セントラルドグマ、相互作用ネットワーク、関連文献)
 - ウェブページのクリックで辿れるもの全部OKというわけではない…

リンクの意味を標準化する必要性(逆向きの変換も含め)

- セマンティック・ウェブ技術によるリンク関係のオントロジー整備
- 同じペアでも関係が同じとは限らない
 - 例) 糖鎖-タンパク質 (糖鎖を代謝する酵素?糖鎖で修飾されるタンパク質?)





TogoIDの対象データベースの追加

変換元DBと変換先DBのペア毎に、IDの対応関係を抽出するプログラムを作成 ← TSVを生成

TogoID-config

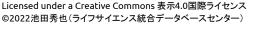
https://github.com/dbcls/togoid-config

11099 ENSG00000071794 11114 ENSG00000126012 11115 ENSG00000012817

LIVOGO

内容

- Rakefile 自動更新手順 (← 前処理が必要なら追記する)
- bin/ 各種取得・変換スクリプト群
- config/ db1-db2ごとの変換規則群
 - o dataset.yaml データベース一覧 (← まだ載ってなければDBを追記する)
 - db1-db2/config.yaml 更新手順 ← 上記プログラムの実行方法を記載する
- input/ 共通の前処理入力データ置き場
- output/ 生成される出力IDペア置き場
 - tsv/db1-db2.tsv タブ区切りファイル
 - ttl/db1-db2.ttl RDF版ファイル





Publication

__ __ _

Bioinformatics, 38(17), 2022, 4194–4199 https://doi.org/10.1093/bioinformatics/btac491 Advance Access Publication Date: 8 July 2022 Original Paper



Databases and ontologies

TogoID: an exploratory ID converter to bridge biological datasets

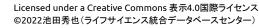
Shuya Ikeda (10 [†], Hiromasa Ono (10 [†], Tazro Ohta (10 , Hirokazu Chiba (10 , Yuki Moriya (10 , Shuichi Kawashima (10 , Yasunori Yamamoto (10 , Shinobu Okamoto, Susumu Goto (10 and Toshiaki Katayama (10 *)

Database Center for Life Science, Joint Support-Center for Data Science Research, Research Organization of Information and Systems, University of Tokyo Kashiwanoha-campus Station Satellite 6F, Kashiwa, Chiba 277-0871, Japan

Associate Editor: Peter Robinson

Received on April 7, 2022; revised on June 8, 2022; editorial decision on July 5, 2022; accepted on July 7, 2022





^{*}To whom correspondence should be addressed.

[†]The authors wish it to be known that these authors contributed equally.

ご意見お待ちしております!

- ____
- ご意見・ご要望はこちらから https://dbcls.rois.ac.jp/contact.html
- ウェブUIの機能面
 - ここが使いにくい/使いやすい
- 対象データベース
 - このIDを変換したい

